

# 八戸市立市民病院との緊急被ばく医療訓練

当社は、日頃から医療機関や公設消防の方々と連携し、施設内で傷病者が発生した際に、迅速に医療処置を受けられる体制を構築させていただいています。

放射性物質を取り扱う当社としては、万が一、汚染を伴う傷病者が発生した場合でも、適切に医療処置を行っていただけるよう、放射線に関する知識・経験を有する当社社員が同行し、汚染の状況を医師に伝えるなどの役割を確認するために、県内4つの医療機関（青森労災病院、八戸市立市民病院、十和田市立中央病院、弘前大学医学部附属病院）それぞれと、定期的に合同訓練を実施しています。

## 医療機関と日本原燃の役割分担

| 医療機関              | 日本原燃        |
|-------------------|-------------|
| 情報共有および通報連絡       |             |
| 医療処置              | 要員の派遣       |
| 放射線管理（除染、汚染拡大防止等） |             |
| 資機材の保管            | 資機材の提供      |
| 放射線管理等の教育         | 教育のための講師の派遣 |

## 【10月21日 八戸市立市民病院との緊急被ばく医療訓練】

当日は、医療関係者や消防関係者、当社社員など52名が、六ヶ所村内と八戸市立市民病院の2か所で訓練を行いました。当社からは、放射線管理員や看護師が参加し、ドクターヘリで六ヶ所村に派遣された医師に傷病者の状態を正確に伝えたり、医療処置後の放射線サーベイなどを行いました。

### 六ヶ所村



ドクターヘリで派遣された医師が傷病者のもとに駆けつける様子



当社の放射線管理員が医師に傷病者の状態を伝える様子

### 八戸市立市民病院



医師が傷病者の身体除染をしている様子



当社の放射線管理員が医療処置後の医師をサーベイする様子

## 八戸市立市民病院 野田頭 副院長のご発言

- ・日本原燃の放射線管理員や看護師と連携することで迅速に医療処置を行うことができた。
- ・いつどのような災害や事故が起こるか分からないので、日頃から様々な場面を想定した訓練を行い、より一層質の高い医療処置ができるように準備していく。

来年以降も毎年、各医療機関との訓練を重ねていくことで、万が一の際にも迅速かつ確実に対応できるよう取り組んでまいります。